

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公開番号】特開 2006-154067 (P2006-154067A)

【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報 2006-023

【出願番号】特願 2004-342129 (P2004-342129)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 1 2 E

G 0 9 G 3/20 6 2 3 B

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 2 4 E

G 0 9 G 3/20 6 4 1 D

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 26 日 (2007.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電流駆動型表示素子と、データ線に流される表示に係わる映像データ電流に基づく、該電流駆動型表示素子の駆動電流が書き込まれる駆動電流設定回路とをそれぞれ備えた、マトリクス状に配されてなる複数の画素回路と、

一方向に配列された複数の前記駆動電流設定回路がそれぞれ接続された複数の前記データ線と、

各データ線に少なくとも一つ接続され、前記データ線に流される表示に係わらない基準電流に基づく電流が書き込まれる電流設定回路と、

前記電流設定回路と前記電流設定回路に隣接する前記駆動電流設定回路との間に配置され、その間で前記データ線の切り離し、接続を制御するスイッチと、

を備え、

前記スイッチは、前記基準電流に基づく電流を前記電流設定回路に書き込む際には前記データ線を切り離し、前記映像データ電流に基づき前記駆動電流を前記駆動電流設定回路に書き込む際には前記データ線の接続を行い、

前記スイッチにより前記データ線の接続を行うときに、前記電流設定回路は前記基準電流に基づく電流を前記データ線に流してなるアクティブマトリクス型表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 又は 2 に記載のアクティブマトリクス型表示装置において、前記基準電流は、前記駆動電流設定回路を用いて前記電流駆動型表示素子が黒表示されるときに前記データ線に流れる電流と同じ電流値の電流であるアクティブマトリクス型表示装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のアクティブマトリクス型表示装置において、前記電流駆動型表示素子はエレクトロルミネッセンス素子であることを特徴とするアクティブマトリクス型表示装置。

【請求項 4】

電流駆動型表示素子と、データ線に流される表示に係わる映像データ電流に基づく、該電流駆動型表示素子の駆動電流が書き込まれる駆動電流設定回路とをそれぞれ備えた、マトリクス状に配されてなる複数の画素回路と、

一方向に配列された複数の前記駆動電流設定回路がそれぞれ接続された複数の前記データ線と、

各データ線に少なくとも一つ接続され、前記データ線に流される表示に係わらない基準電流に基づく電流が書き込まれる電流設定回路と、

前記電流設定回路と前記電流設定回路に隣接する前記駆動電流設定回路との間に配置され、その間で前記データ線の切り離し、接続を制御するスイッチと、

を備えたアクティブマトリクス型表示装置の電流プログラミング方法であって、

前記スイッチにより前記データ線を切り離して、前記基準電流に基づく電流を前記電流設定回路に書き込み、

その後、前記スイッチにより前記データ線を接続し、前記電流設定回路により前記基準電流に基づく電流を前記データ線に流しつつ、前記映像データ電流に基づき前記駆動電流を前記駆動電流設定回路に書き込む電流プログラミング方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】アクティブマトリクス型表示装置およびその電流プログラミング方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明はアクティブマトリクス型表示装置およびその電流プログラミング方法に係わり、特に電流駆動型表示素子に用いたアクティブマトリクス型表示装置に好適に用いられるものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は上記電流の書き込み動作を安定して行うことができるアクティブマトリクス型表示装置およびその電流プログラミング方法を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】